

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス										
対象学科	動画デザインビジネス 学科			授業科目	CGデザインⅠ					
氏 名	森川 佑二			授業の方法	演習		単位数	4		
実務経験	有	無	ポスター、各種出版物や印刷物の企画からデザイン・制作、看板、パッケージ、Webなど幅広い業務に勤務しデザイン業界で経験を積んだ。							
対象学年	1 年生	年間授業時数	70 時間	学 期	前期		後期		通年	○
【授業目標】										
・ デジタルツールCLIPSTUDIOの使い方の理解、原稿制作への知識を高める。										
・ 作品への応用、実践での作画制作に適応出来る技術習得を目指す。										
【到達目標】										
・ ツールの理解、一通りの原稿制作の流れ、作画技術の習得。										
・ 業務としての指示内容に沿った原稿の作画、商材とする原稿のクオリティ作画の習得。										
・ 効率化を深め、自主制作・実業務への昇華を目指す。										
【授業計画】										
1 講義…デジタルツールCLIPSTUDIOについて、ソフトの開き方、画面の見方										
2 実習…ソフトの使い方、ショートカット登録 ※人物課題(全身・バストアップ・横顔)										
3 実習…レイヤーの種類、ペン、消しゴムツールについて										
4 講義・実習…選択範囲、下書きレイヤーの作り方・使い方、ペン入れ実習										
5 実習…人物課題へペン入れ										
6 講義・実習…ブラシ、パケツ(塗りつぶし)ツール、トーンツールについて、人物課題トーン貼り										
7 実習…人物課題仕上げ										
8 講義・実習…※トーン課題制作(線画背景からのトーン仕上げ)										
9 実習…トーン課題制作①										
10 実習…トーン課題制作②										
11 実習…トーン課題制作、完成										
12 講義・実習…直接描画・定規ツールについて ※トレース課題ウィングラス										
13 実習…トレース課題制作①										
14 実習…トレース課題制作②										
15 実習…トレース課題制作③										
16 講義・実習…前期の振り返り、ショートカット・ツールの確認 ※テーマ課題トーン仕上げ										
17 実習…テーマ課題制作①										
18 実習…テーマ課題制作②										
19 実習…テーマ課題制作③										
20 実習…テーマ課題制作④										
21 実習…テーマ課題制作、完成①										
22 実習…テーマ課題制作、完成②										
23 講義・実習…効果線・素材ツールについてⅠ										
24 講義・実習…効果線・素材ツールについてⅡ										
25 講義・実習…枠線・コマ割りについてⅠ										
26 講義・実習…枠線・コマ割りについてⅡ										
27 講義・実習…写植・セリフについてⅠ										
28 講義・実習…写植・セリフについてⅡ										
29 講義…1年の総括、次年度課題の説明、春休み課題の発表										
30 講義…2年の総括、次年度課題の説明、春休み課題の発表										
【授業評価方法・注意】										
本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。										
① 課題 20点										
② 出席 30点 (30×出席率)										
③ 提出物 30点										
④ 学習状況 20点										
【教科書等】										
・ アニメーション 動きのガイドブック - 伝わる表現の基礎講座(ビー・エヌ・エヌ新社)										

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス										
対象学科	トラベル観光、動画デザインビジネス、事務職養成 学科				授業科目	アプリケーション実習Ⅰ				
氏 名	丸山 朋子				授業の方法	実習	単位数	4		
実務経験	有 無	情報通信サービス会社にシステムの設計・開発・テストを業務として勤務し、情報通信システムに関する実務経験を積んだ。								
対象学年	1 年生	年間授業時数	140 時間	学 期	前期		後期		通年	○
【授業目標】 本科目では、トラベル観光学科、動画デザインビジネス学科、事務職養成学科の3学科合同で、Microsoft Office Excel及びPowerPointの基礎から応用まで学習します。1年間でサートیفাই主催のExcelとPowerPoint検定の合格を目指します。										
【到達目標】 PowerPointを使用して基本的なプレゼンテーション資料を作成できる。 Excelの基本操作を習得し、データ入力や表計算、ビジネス図表を作成できる。 サートیفাই主催Excel検定（3級）、PowerPoint検定（初級/上級）に合格する。										
【授業計画】 1 オリエンテーション、Microsoft Officeの概要 2 PowerPointの基礎 3 ・PowerPointの基本操作と画面構成 4 ・スライド作成と編集 5 ・テキストボックスやワードアートの挿入 6 PowerPointのデザインと効果 7 ・スライドデザインとテーマの適用 8 ・アニメーションとトランジション効果 9 ・画像や図形の挿入、編集 10 PowerPointの応用 11 ・スライドマスターの活用 12 ・音声や動画の挿入 13 ・プレゼンテーションの実施とタイミング設定 14 PowerPoint検定対策（1） 15 PowerPoint検定対策（2） 16 PowerPoint検定試験 17 Excelの基礎 18 ・Excelの基本操作と画面構成 19 ・データ入力と編集、書式設定 20 ・数式と計算（四則演算、絶対参照） 21 ・基本的な関数①（数学／三角関数） 22 ・基本的な関数②（統計関数、論理関数） 23 Excelのグラフと表 24 ・グラフ作成、編集 25 ・表作成とスタイル設定 26 ・データベース機能（テーブル、並べ替え、フィルター） 27 Excelの印刷 28 Excel検定対策（1） 29 Excel検定対策（2） 30 Excel検定試験										
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ① 出席 30点（30×出席率） ② 授業作品 40点 ③ 学習状況 30点										
【教科書等】 ・ 2019対応 PowerPointプレゼンテーション技能認定試験問題集（サートیفাই） ・ 2024対応 Excel表計算処理技能認定試験問題集（サートیفাই） ・ 補助教材										

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス										
対象学科	動画デザインビジネス 学科				授業科目	イラストレーター演習Ⅰ				
氏 名	津田 知恵美				授業の方法	演習		単位数	8	
実務経験	有 無	フリーランスでデザインを手がけ、多くの出版物のデザイン・レイアウトを担当して、デザイン分野の実務経験を積んだ。								
対象学年	1 年生	年間授業時数	140 時間	学 期	前期		後期		通年	○
【授業目標】 Illustratorの基礎から応用までを理解する。 効率よく各種ツールの持つ基本操作を取得するための制作能力を身に付ける。										
【到達目標】 ・ コンピューターを中心としたハードウェアや取り扱うデータに関する体系的な知識、および各種ツールの活用能力を理解する。 ・ Illustratorの機能取得、技術をマスターする。										
【授業計画】 1 Illustratorの機能概要 2 Illustratorの基本操作 3 オブジェクトの基本操作 4 カラー設定の基本操作 5 オブジェクト編集の基本操作 6 文字編集の基本操作 7 パスの基本操作 8 オブジェクトの応用操作 9 カラー設定の応用操作 10 レイヤーの応用操作 11 文字編集の応用操作 12 パスの応用操作 13 イラストレーション制作 14 ロゴデザイン 15 漢字でタイポグラフィ 16 Webデザイン 17 グラフの基本操作とデザイン 18 DTPのための環境設定 19 印刷原稿の作成 20 名刺のデザイン 21 写真を配置したDM 22 見開きパンフレットのデザイン 23 地図制作 24 学園祭チラシとポスター制作 25 一日研修リーフレット制作 26 年賀状制作 27 カレンダー制作 28 コンペ作品等制作 29 ポートフォリオの作成方法 30 ポートフォリオ制作										
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ① 課題 40 点 ② 出席 30 点（30×出席率） ③ 提出物 10 点 ④ 学習状況 20 点										
【教科書等】 ・ IllustratorクイックマスターCC(ウイネット)										

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス																		
対象学科	動画デザインビジネス 学科			授業科目	カメラワークⅠ													
氏 名	津田 知恵美			授業の方法	演習	単位数	2											
実務経験	☒ 有 ☐ 無	フリーランスでデザインを手がけ、多くの出版物のデザイン・レイアウトを担当して、デザイン分野の実務経験を積んだ。																
対象学年	1 年生	年間授業時数	35 時間	学 期	前期		後期		通年	○								
【授業目標】 基礎的な写真技術を学習する。																		
【到達目標】 普遍的な表現方法を知り表現力の高い写真撮影が出来るようになる。																		
【授業計画】 1 カメラの基礎知識 2 カメラの構え方 3 ピントの表現 4 シャッター速度の表現 5 絞りの表現 6 ISO感度の表現 7 レンズの表現 8 色の表現 9 手ぶれ 10 画素数 11 写真の構図 12 対象による変化 13 奥行き表現 14 動きの表現 15 光の表現 16 レンズワーク 17 ポジション・アングル 18 カメラとレンズのメンテナンス 19 スマホ写真 20 レンズの汚れ 21 デジタルズーム 22 グリッド表示 23 光源 24 露出モード 25 露出補正 26 ホワイトバランス 27 一眼レフの設定と撮影 28 GoProの設定と撮影 29 djiPOCKET2の設定と撮影 30 THETAの設定と撮影																		
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 <table border="0"> <tr> <td>① 課題</td> <td>40点</td> </tr> <tr> <td>② 出席</td> <td>30点（30×出席率）</td> </tr> <tr> <td>③ 提出物</td> <td>10点</td> </tr> <tr> <td>④ 学習状況</td> <td>20点</td> </tr> </table>											① 課題	40点	② 出席	30点（30×出席率）	③ 提出物	10点	④ 学習状況	20点
① 課題	40点																	
② 出席	30点（30×出席率）																	
③ 提出物	10点																	
④ 学習状況	20点																	
【教科書等】 ・ 写真のことが全部わかる本（インプレス） ・ 写真の表現テクニック入門（上田晃司）																		

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス										
対象学科	トラベル観光、動画デザインビジネス、事務職養成 学科			授業科目	基礎英語					
氏 名	荒木 周子			授業の方法	講義	単位数	2			
実務経験	有 ☐ 無 ☒	塾での英語教師として実績や、企業での英語指導の実務に従事した。								
対象学年	1 年生	年間授業時数	35 時間	学 期	前期		後期		通年	☐
【授業目標】 英語を話すための基礎知識をみにつける・										
【到達目標】 学習した表現を応用して文を完成させることができる。										
【授業計画】 1 Self intoruduction 2 How many and How much 3 How many and How much 4 Conjunctions 5 Conjunctions 6 Future tesnse 7 Future tesnse 8 Future Questions 9 Future Questions 10 Review 11 How Questions 12 How Questions 13 How Questions 14 Possesive nouns 15 Possesive nouns 16 Possesive nouns 17 Possesive pronouns 18 Possesive pronouns 19 Modal Verbs 20 Modal Verbs 21 Review 22 Present Simple 23 Present Simple 24 Present progressive 25 Present progressive 26 Past Simple 27 Past Simple 28 Sentence Types 29 Exclamations 30 Review										
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ① 定期考查 40点 ② 出席 25点（25×出席率） ③ 提出物 10点 ④ 学習状況 25点										
【教科書等】 ・ Happy Grammar 4 ・ Happy Grammar 4 workbook										

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス										
対象学科	トラベル観光、動画デザインビジネス、事務職養成 学科			授業科目	キャリアデザインⅠ					
氏 名	行平 未来			授業の方法	講義	単位数	4			
実務経験	有	無								
対象学年	1 年生	年間授業時数	70 時間	学 期	前期		後期		通年	○
【授業目標】 キャリア理論に触れながら、社会と自分の関係性を学びつつ「自己理解」を深め、今後の進路選択において自らのキャリアデザインに必要な知識を身につけることができる										
【到達目標】 キャリア理論に触れながら、キャリア形成に関する基礎知識を獲得する。 自己についての学びを深め、自身のキャリアをデザインすることができる。										
【授業計画】 1 個人面談 2 キャリアとは①(キャリアとは何か) 3 キャリアとは②(キャリアとは何か) 4 キャリアとは①(キャリアをデザインするとは) 5 キャリアとは②(キャリアをデザインするとは) 6 社会人基礎力について 7 キャリアデザイン①(将来の自分を考える) 8 キャリアデザイン②(将来の自分を考える) 9 ライフプランとマネープラン(人生における支出) 10 ライフプランとマネープラン(人生における収入) 11 自己理解①(主観的な自分について考える) 12 自己理解②(主観的な自分について考える) 13 ライフラインチャートの作成① 14 ライフラインチャートの作成② 15 自己理解①(客観的な自分について考える) 16 自己理解②(客観的な自分について考える) 17 社会を知る①(働く目的) 18 社会を知る②(仕事とは) 19 社会を知る③(職種・業種) 20 社会を知る④(社会に対する意識) 21 社会を知る⑤(ワークルールを知る) 22 社会を知る⑥(ワークルールを知る) 23 キャリアデザイン①(目標設定の必要性) 24 キャリアデザイン②(PDCAサイクル) 25 キャリアデザイン③(行動計画を立てる) 26 第一印象の構成要素(好感を持たれる人になるには)① 27 第一印象の構成要素(好感を持たれる人になるには)② 28 敬語①(敬語の種類) 29 敬語②(間違った敬語) 30 敬語③(やさしい言葉選び・やさしい話し方)										
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ① 定期考査 40点 ② 出席 25点 (25×出席率) ③ 提出物 10点 ④ 学習状況 25点										
【教科書等】 ・ 大学生のキャリアデザイントレーニング 第2版(晃洋書房) ・ 筆記試験対策ベーシックドリル 一般常識&SPI(実教出版) ・										

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス											
対象学科	動画デザインビジネス 学科			授業科目	情報リテラシー						
氏 名	森 尚貴			授業の方法	講義		単位数	2			
実務経験	有	無	長年に渡り高等学校で工業教育・総合学科教育に従事した。								
対象学年	1 年生	年間授業時数	35 時間	学 期	前期		後期		通年	○	
【授業目標】											
・必要な情報を効果的に探し出すとともに、見つけた情報を適切に評価・活用できる能力を育成する。											
【到達目標】											
・ 正確な情報により適切な判断を下すための情報を得ることが効率的に出来る。											
・ インターネットに潜む危険性を理解出来ている。											
【授業計画】											
1 情報とセキュリティ											
(1)脆弱性とその対策											
(2)マルウェア対策											
(3)USBメモリの危険											
(4)Windowsのセキュリティ対策											
(5)Macのセキュリティ対策											
(6)スマホのセキュリティ対策											
(7)パスワード管理											
(8)アカウントの連携の注意点											
(9)無線LANのセキュリティ											
2 情報と法律											
(1)著作権法											
(2)個人情報保護法											
(3)不正アクセス禁止法											
3 コンピュータに関する基礎知識											
(1)コンピュータの基礎用語											
(2)Windowsへのサインイン											
(3)アカウントの作成と設定											
4 ネットの利用											
(1)Web											
(2)メールのマナー											
(3)メールアプリの設定											
(4)クラウドサービス											
(5)オンライン会議											
(6)Webによる情報発信											
5 情報の調べ方											
(1)サーチエンジン活用法											
(2)データの入手方法											
【授業評価方法・注意】											
本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。											
① 定期考査 30点											
② 出席 35点（35×出席率）											
③ 提出物 15点											
④ 学習状況 20点											
【教科書等】											
・ 基礎からわかる情報リテラシー											

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス																						
対象学科	動画デザインビジネス 学科			授業科目	デジタルデッサンⅠ																	
氏 名	森川 佑二			授業の方法	演習	単位数	8															
実務経験	☒ 有 ☐ 無	ポスター、各種出版物や印刷物の企画からデザイン・制作、看板、パッケージ、Webなど幅広い業務に勤務しデザイン業界で経験を積んだ。																				
対象学年	1 年生	年間授業時数	140 時間	学 期	前期		後期		通年	○												
【授業目標】 ・ 絵画表現の基礎になるデッサンの概論とデッサン力を身につける。 ・ 見たものを見たように描く写実的表現技法の習得を目指す。 ・ ClipStudioの基礎を学ぶ。																						
【到達目標】 ・ デッサンによって確かな洞察力が身につく。 ・ デジタルデッサンについて																						
【授業計画】 <table border="0"> <tr><td>1</td><td>ClipStudioで作画</td></tr> <tr><td>2</td><td>(1)下書き (レイヤー描画の基礎)</td></tr> <tr><td>3</td><td>(2)線画 (ブラシの基礎)</td></tr> <tr><td>4</td><td>(3)下塗り (色の選択と塗りつぶし)</td></tr> <tr><td>5</td><td>(4)本塗り (各種ブラシと色塗りツール)</td></tr> <tr><td>6</td><td>(5)基礎実践</td></tr> </table>											1	ClipStudioで作画	2	(1)下書き (レイヤー描画の基礎)	3	(2)線画 (ブラシの基礎)	4	(3)下塗り (色の選択と塗りつぶし)	5	(4)本塗り (各種ブラシと色塗りツール)	6	(5)基礎実践
1	ClipStudioで作画																					
2	(1)下書き (レイヤー描画の基礎)																					
3	(2)線画 (ブラシの基礎)																					
4	(3)下塗り (色の選択と塗りつぶし)																					
5	(4)本塗り (各種ブラシと色塗りツール)																					
6	(5)基礎実践																					
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 <table border="0"> <tr><td>① 課題</td><td>20点</td></tr> <tr><td>② 出席</td><td>30点 (30×出席率)</td></tr> <tr><td>③ 提出物</td><td>30点</td></tr> <tr><td>④ 学習状況</td><td>20点</td></tr> </table>											① 課題	20点	② 出席	30点 (30×出席率)	③ 提出物	30点	④ 学習状況	20点				
① 課題	20点																					
② 出席	30点 (30×出席率)																					
③ 提出物	30点																					
④ 学習状況	20点																					
【教科書等】 ・ プロが教える! CLIP STUDIO PAINT PROの教科書(技術評論社)																						

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス										
対象学科	動画デザインビジネス 学科			授業科目	デジタルマーケティングⅠ					
氏 名	藤原 校之			授業の方法	講義	単位数	2			
実務経験	有 無	企業においてインターネット事業開発部に所属しシステム担当に就任する。また起業経験もありWEBサイト管理経験もある。日本語学校等で日本語教育にも携わる。								
対象学年	1 年生	年間授業時数	35 時間	学 期	前期		後期		通年	○
【授業目標】 ・マーケティング及びデジタルマーケティングの基礎知識を学習し、商品やサービスの購入につなげる方法を知る。										
【到達目標】 ・成功事例の学習により、より広い知識を得る。										
【授業計画】 1 マーケティングとは (1)マーケティングの成り立ち (2)マーケティングの基本概念 2 マーケティングのマネジメント (1)製品のマネジメント (2)価格のマネジメント (3)広告のマネジメント (4)サプライチェーンのマネジメント (5)営業のマネジメント 3 デジタルマーケティングとは (1)従来の広告 (2)デジタル広告 (3)マーケティング環境の変化 (4)一人ひとりに最適なコミュニケーション (5)デジタルマーケティングを活用した企業の取り組み事例 (6)動画マーケティングによる成功事例										
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ① 定期考査 40点 ② 出席 30点（30×出席率） ③ 提出物 10点 ④ 学習状況 20点										
【教科書等】 ・ 1からのマーケティング<第4版> ・ デジタルマーケティングとは？<日立ソリューションズWEBサイト>										

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス										
対象学科	動画デザインビジネス 学科			授業科目	フォトショップ演習Ⅰ					
氏 名	津田 知恵美			授業の方法	演習		単位数	6		
実務経験	有 無	フリーランスでデザインを手がけ、多くの出版物のデザイン・レイアウトを担当して、デザイン分野の実務経験を積んだ。								
対象学年	1 年生	年間授業時数	105 時間	学 期	前期		後期		通年	○
【授業目標】 Photoshopの基礎から応用までを理解する。 効率よく各種ツールの持つ基本操作を取得するための制作能力を身に付ける。										
【到達目標】 ・ コンピューターを中心としたハードウェアや取り扱うデータに関する体系的な知識、および各種ツールの活用能力を理解する。 ・ Photoshopの機能取得、技術をマスターする。										
【授業計画】 1 Photoshopの機能概要 2 Photoshopの基本操作 3 選択範囲の作成 4 画像の移動と変形 5 カラーモードと色調補正 6 文字編集の基本操作 7 ブラシツールとオプションの設定 8 ペイント系のツールの基本操作 9 レタッチ系のツールの基本操作 10 レイヤーの基本操作 11 その他のレイヤー機能 12 パスの作成と編集 13 パスとシェイプ 14 テキストの入力と編集 15 文字の加工 16 フィルターの概要と使用 17 画像の入出力 18 プリントとスキャナー 19 色調補正ツールの基本技 20 食べ物の写真を補正する 21 フォトレタッチ 22 ロゴデザイン 23 学園祭チラシとポスター制作 24 アクションで作るフォトカード 25 写真から作る立体ポップ 26 フィルターで作るブックカバー 27 フォトコラージュ 28 Webページの制作 29 Web用画像の保存と書き出し 30 コンペ作品等制作										
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ① 課題 40点 ② 出席 30点（30×出席率） ③ 提出物 10点 ④ 学習状況 20点										
【教科書等】 ・ PhotoshopクイックマスターCC（ウイネット）										

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス											
対象学科	動画デザインビジネス 学科				授業科目	動画作成Ⅰ					
氏 名	竹内 尚志				授業の方法	演習		単位数	4		
実務経験	有 無	デジタルコンテンツを制作する会社を経営し、デジタル技術、Web技術に関する実務経験を積んだ。									
対象学年	1 年生	年間授業時数	70 時間	学 期	前期		後期		通年	○	
【授業目標】 ・ 動画撮影の基礎体験 ・ 動画編集の基礎を学ぶ ・ 生成AIの利活用体験											
【到達目標】 ・ GoProやミラーレスカメラにより動画撮影ができる。 ・ ClipChampを利用し動画編集ができる。 ・ 生成AIを活用し、各種アカウントの運用戦略策定ができる。											
【授業計画】 1 GoProの操作体験 (1)GoProを使用して 1 分動画の撮影 (2)GoProを使用して 3 分動画の撮影 (3)GoProを使用して 5 分動画の撮影 (4)GoProを使用して写真撮影 2 音声の録音 (1)GoProを使用して自然の音の録音 (2)GoProを使用して人口の音の録音 (3)生成AIを活用した楽曲の作成 3 ClipChampの基本操作を学ぶ (1)動画の読み込み (2)音楽の読み込み 4 動画構成の研究 (1)好きな動画を分析 (2)ベルソナの設定と推定 (3)ベルソナに基づく動画の分析 ①YouTubeの研究 ②Instagramの研究 ③TikTokの研究 ④その他の動画研究 (3)ClipChampで模倣 5 テーマ設定 (1)誰に伝えるかで研究 (2)何を伝えるかで研究 (3)適切な長さの研究 6 動画作成 (1)個人で動画を作成しグループで評価											
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ① 定期考査 20点 ② 出席 30点（30×出席率） ③ 提出物 30点 ④ 学習状況 20点											
【教科書等】 ・ できるGoProスタート ・ Clipchampの使い方											